

# 実験の概要 (第2期)

静岡市中心部周辺において以下の実証実験を実施し、**104名**の方が体験された

第2期実験期間 12月11日～12月22日  
(車いす使用者に対する、地下道を含めた移動支援)

## < 検証項目 >

地下空間・異状況(天候等)下に、移動に必要なとなる情報の整理

- ・ 移動制約者の属性に合わせた、移動局面での必要情報を抽出・整理
- ・ ハード機器の動作確認、使い勝手など、ユニバーサルデザインに必要な事項の検証

## < 実験内容 >

車いす使用者にバリアフリールートへの経路案内  
利用者の属性や利用時の状況(天候等)  
に合った情報提供  
移動ルート上の商店街・施設等の情報提供  
利用者の意思により選定可能



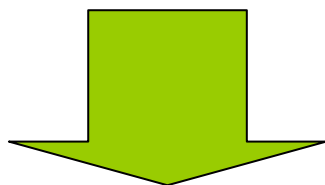
ユビキタスコミュニケーター  
(車いすへ取り付け)



## < 第二期実証実験の総評 >

- ・ 車いす移動支援へのサービスの有効性は高く評価された。
- ・ 実用化されたときのユーザーの利用意向は高い

現システムを用いた車いす移動支援は、改良を重ねること  
により有益なものとなる。



- ・ 適切な情報提供方法
- ・ 情報提供ポイントの増加
- ・ より進歩した移動経路案内の充実